

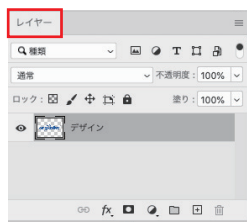
2023年2月更新

■ カットパス(ハーフカット)について

- ・ カットの形状は、カットパスの作成をお願いいたします。
[ウィンドウ]→[パス]からパスパレットを表示し、作業用パスでカットパスを作成してください。(図参照)

※画像で作成された線には対応していません。

< デザインデータ >

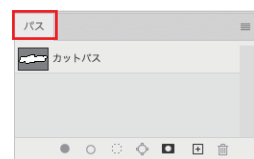


デザインは「レイアウト」レイヤー上に作成。

※カットパスは作成しないでください。

カットパスがレイヤー内にある場合は、印刷されてしまう可能性があります。

< カットデータ >



作業用パスにカットパスを作成。

※カットパスのみ作成してください。

デザインと同座標(同じ位置)に作成してください。



- ・ カットパスは、始終点が閉じた一筆書きの図形でご指定ください。
- ・ カットパスの外側に2mm以上の塗り足しを作成してください。
また、切れてはいけない文字やデザイン、均等フチ等は、カットパスから2mm以上離して作成してください。
- ・ 複数のハーフカットを配置する場合は、カットパス同士2mm以上の間隔を開けてください。
- ・ 複雑/鋭角な形状は、お受けできない場合がございます。

■ 台紙サイズ(仕上がり位置)について

- ・ 当社のテンプレートは定型サイズ仕上げ用に設定されています。
もし台紙のサイズをお客さまの任意でご指定いただく場合は、キャンバスサイズを「断裁サイズ + 上下左右それぞれ3mm」で設定していただき、断裁位置にガイド線を作成してください。
- ・ カットパスと台紙カット位置の間隔は、3mm以上離してください。



白インクの指定について

次ページへ

■ 白インクの指定について（用紙が「透明PETシール」の場合のみ）

オプションで「白インクの指定」をご利用いただく場合は、ホワイト版の作成をお願いいたします。
「ホワイト」レイヤー上に、「レイアウト」レイヤーの位置を基準として、ホワイト版の原稿を作成してください。

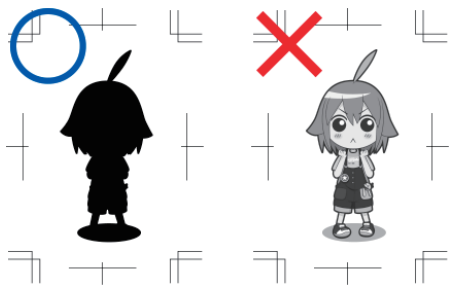
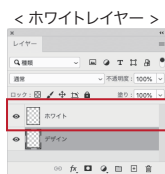
ホワイト版で印刷する箇所は**Kのみ**で作成してください。

「ホワイト」レイヤー上の**Kのみ**で指定された濃度がそのまま白インクの濃度になります。

※CMYKのデザインデータをIllustratorやPhotoshop上で変換するだけでなく、
変換後の濃度も必ずご確認ください。

※白インクは、グラデーションのような綺麗な濃度差は表現できません。

基本的には濃度100%をお勧めいたします。



CMYKデータをグレースケールに変換しただけの状態。
Kの濃度＝ホワイトの濃度になるため、ホワイトが薄く
印刷され、綺麗に仕上がりません。

※薄い濃度の部分は、綺麗にホワイトがのらず、下地の
素材がでてしまいます。

■ 使用するテンプレートについて

テンプレートを2種類ご用意しております。以下の通りご使用ください。

・用紙が「クリア(透明塩ビ)」、かつ白インクの指定オプションで「白インク先刷り」「白インク後刷り」
「白インクのみ」のいずれかをご選択いただいた場合
→【sealmulti●●ー白インクあり.psd】

・用紙：「ホワイト(光沢塩ビ)」 「ホワイト(塩ビ強粘着再剥離)」をご選択いただいた場合
・クリア(透明塩ビ)の白インクオプションで「白インクなし」をご選択いただいた場合
→【sealmulti●●ー白インクなし.psd】

■ 対応するデータ形式

保存形式：PSD